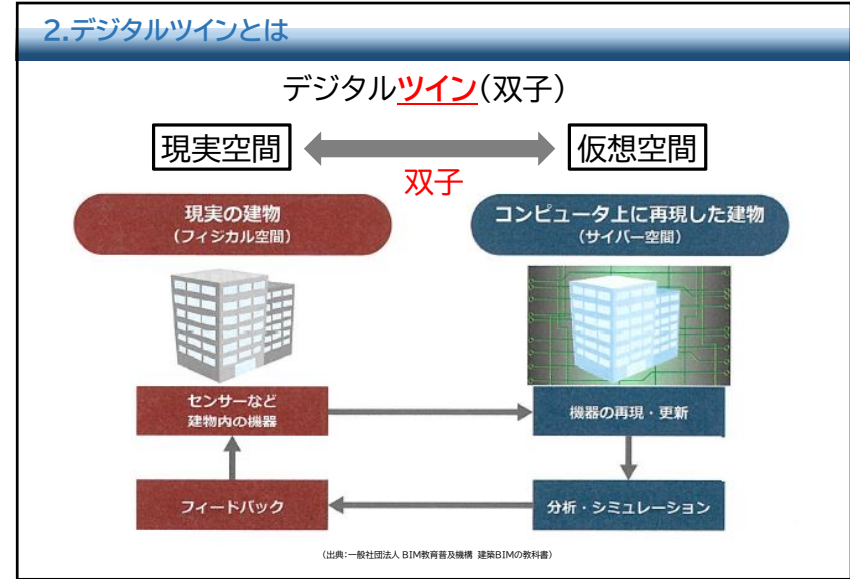


BIMの普及に向けたはじめの一步

令和7年1月

置賜総合支庁建設部建築課 鈴木 良介
The era of architectural BIM is coming



1. BIM (Building Information Modeling) とは

BIMとは、①及び②の情報が入った「建物情報モデル」を構築するシステム

- ① 3次元の形状情報
- ② 室等の名称・面積、材料・部材の仕様・性能、仕上げ等、建物の属性情報

BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス

- > 3次元形状モデルで建物をわかりやすく「見える化」し、理解度を向上
- > 各モデルに属性情報を付加可能
- > 建物のライフサイクルコストを通じた情報利用/ IoTとの連携が可能

(出典：国土交通省 建築BIM加速化事業説明会資料)

BIMモデル
(建物全体)

BIMモデル
(室内部分を拡大)

<壁の属性情報>

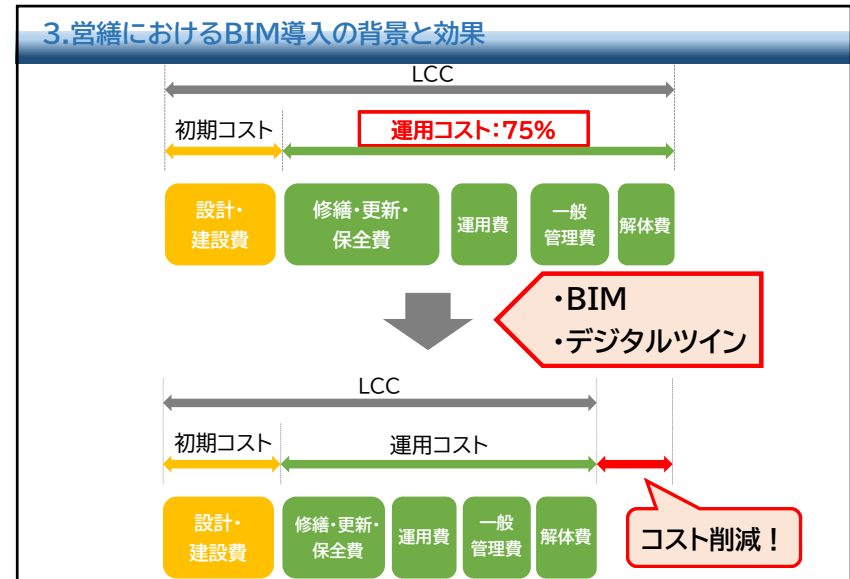
- ・壁仕上、下地材
- ・壁厚
- ・遮音性能
- ・断熱性能
- ・不燃・準不燃・難燃
- ・天井裏の壁の有無 等

<柱の属性情報>

- ・構造、材種
- ・材料強度
- ・仕上、下地材
- ・不燃・準不燃・難燃 等

<開口部の属性情報>

- ・開閉機構
- ・防火性能
- ・断熱性能
- ・金物、錠、ハンドル 等



4.県内のBIM導入への課題

山形県はBIM導入がほとんど進んでいない！

・導入コスト

ソフトウェアやハードウェアの初期投資

・人材不足

専門知識を持つ技術者育成の遅れ

・業務プロセスの変化への抵抗

従来の手法に満足



- ・教育機関との連携強化
- ・資格制度の普及
- ・国や自治体の支援

行政の支援が必要！

6.職員のスキルアップ

👏 リスキリング 👏

➢ R6.1月にBIM利用技術者試験2級を取得

➢ R6.6月にBIMソフトをサブスク

➢ R7.7月実施予定のBIM利用技術者試験
1級の取得を目指し、勉強中！

実際にやってみると・・・

- ・実務的な作成方法がわからない！
- ・相談できる人がいない！



5.人材育成に向けて

BIMの人材育成のためにできることは・・・

職員のスキルアップ



公共事業でのBIM活用



公共工事の設計者・施工者のスキルアップ



業界全体の人材確保・BIM導入



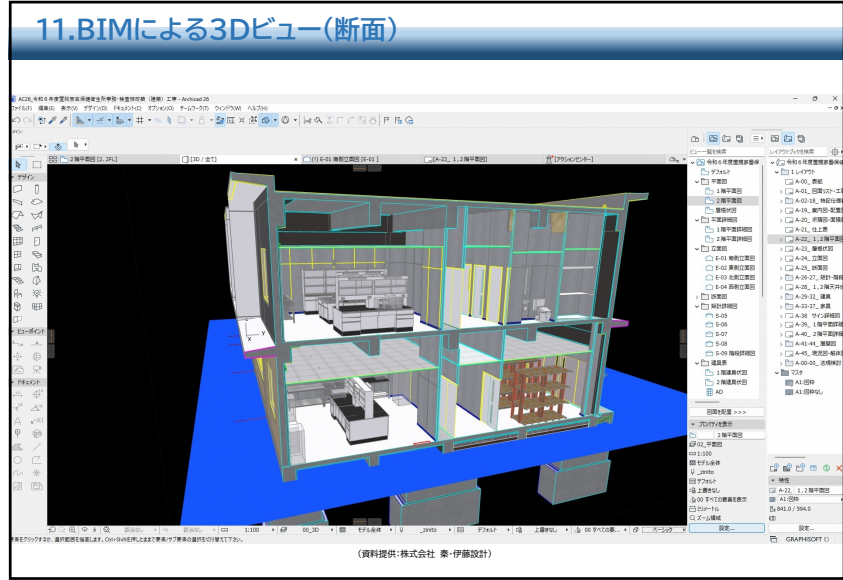
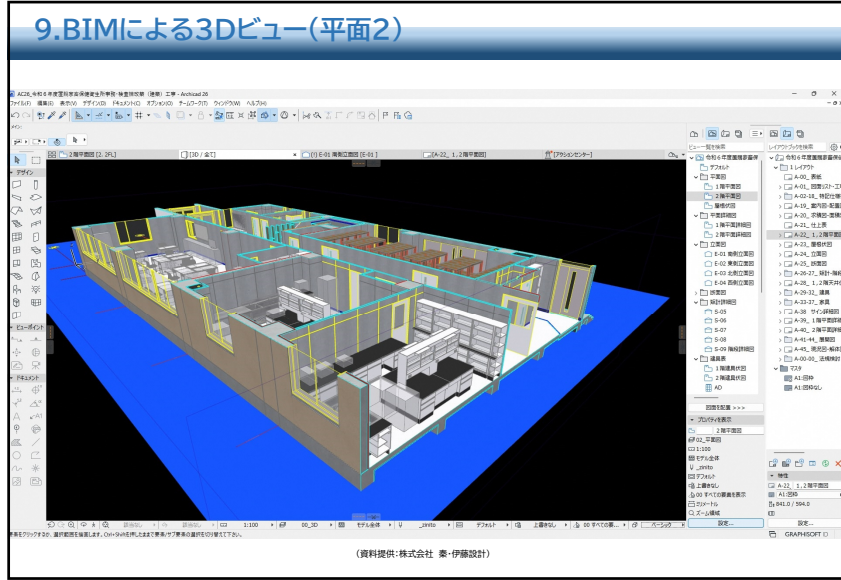
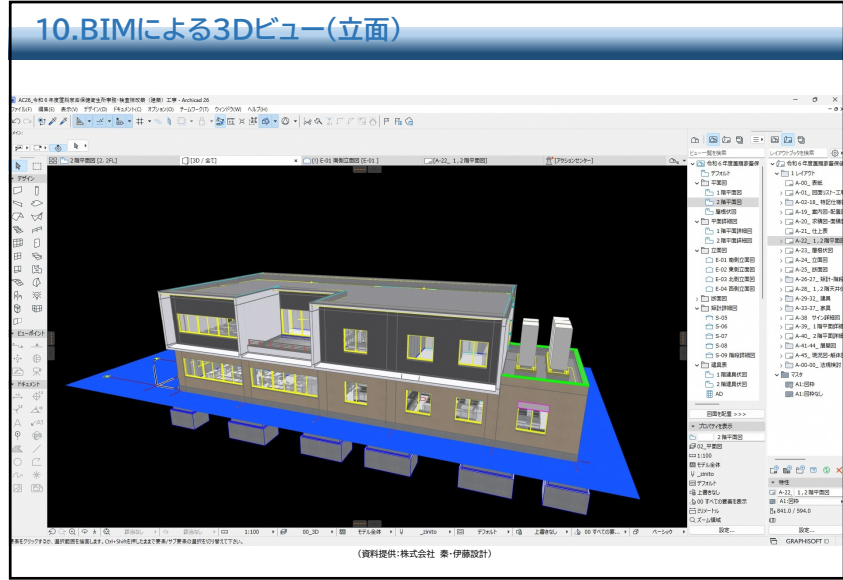
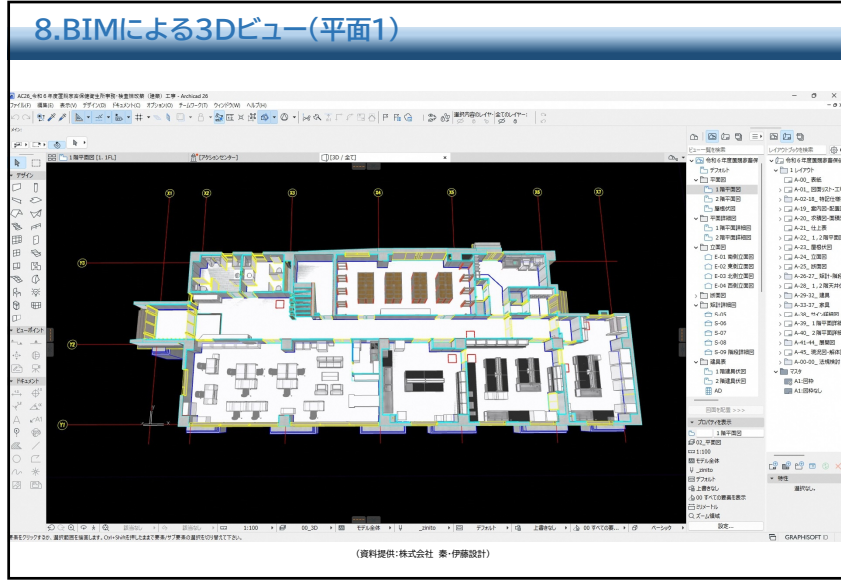
7.公共事業でのBIM活用

BIMモデルを使用して属性情報の入力方法や数量自動計算機能、クラウド上での図面チェック方法をPC画面を見ながら体感できる場を共有するため、BIM操作研修会を実施予定。

工事概要

工 事 名 令和6年度置賜家畜保健衛生所事務・検査棟改築工事
場 所 南陽市三間通 地内
構造・階数 鉄筋コンクリート造 2階建て
延べ床面積 696.35㎡
工 期 R6.9～R7.11





12.まとめ

BIM導入は、県内の営繕業務において効率性、透明性、持続可能性を向上させる大きな可能性を秘めています。

人材不足等の課題には対策を講じながら、モデル事業を通じて成功事例を積み重ね、県全体での普及を目指します。

最終的には、BIMを活用して県有施設の運営管理を高度化し、県民にとってより利便性の高い地域社会を実現していきます。

